

Top Message	環境本部長インタビュー	特集1「第8期富士通グループ環境行動計画」の焦点	特集2 Digital Innovation	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	--------------------------	------------------------	------------------	---------------------------	----------	------

事業所における温室効果ガス(GHG)排出量の削減・エネルギー効率の改善	環境配慮データセンターの推進	物流・輸送時のCO ₂ 排出量削減	お取引先のCO₂排出量削減の推進	再生可能エネルギー利用量の拡大	水資源の有効利用	化学物質排出量の抑制	廃棄物排出量の抑制	製品のリサイクル
-------------------------------------	----------------	------------------------------	------------------------------------	-----------------	----------	------------	-----------	----------

お取引先のCO₂排出量削減の推進

富士通グループのアプローチ

地球温暖化防止に向けて、社会全体での省エネルギーによるCO₂排出量削減が重要なテーマとなっています。富士通グループでは、サプライチェーン全体で活動する必要があると考え、お取引先にCO₂排出削減・抑制の取り組みを働きかけています。

2013年度から、部材を調達するお取引先にとどまらず、工事、設備、保守、ソフトなどあらゆる事業領域のお取引先に働きかけを拡大し、幅広く展開しています。具体的には、お取引先のCO₂排出削減の取り組み状況を調査し、富士通グループが定める水準に至らないお取引先に対しては、取り組みの強化をお願いするとともに支援も行っています。今後も、富士通グループのグリーン調達活動のノウハウを活かしてお取引先とともに取り組みを促進し、社会全体の環境負荷低減に貢献していきます。

2015年度の実績サマリー

第7期環境行動計画の目標 (2015年度末まで)	すべての領域のお取引先にCO ₂ 排出削減の取り組みを拡大する。
2015年度目標	CO ₂ 排出削減・抑制の取り組みを実施するお取引先の比率を 100% にする。
2015年度実績	お取引先の比率 100% 達成

2015年度の実績・成果

お取引先の取り組み状況調査を実施し、情報提供などで取り組みを支援・推進

富士通グループでは、お取引先にステージ2(右図参照)に取り組んでいただくことを目標に掲げ、働きかけを実施してきました。具体的には、新規お取引先に富士通グループ独自の環境調査票を配付し、お取引先のCO₂排出削減の取り組み状況を確認しました。ステージ2に達していないお取引先には、取り組みやすい活動事例をチェックリスト形式で紹介した資料を提供し、取り組み実施のきっかけにいただきました。

また、活動の手引きとして、企業の地球温暖化問題への関わり、具体的な活動の進め方、その他参考情報などをリーフレットにまとめ、お取引先に提供しました。

さらに、2014年度までにステージ2以上を達成したお取引先に対しても、CO₂排出削減活動の状況を再確認し、活動の継続を働きかけました。

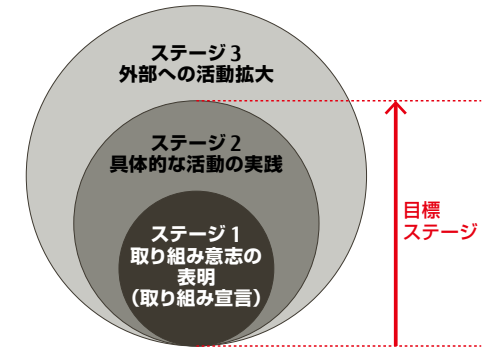


お取引先に提供しているリーフレット

CO₂排出削減の取り組みを実施するお取引先の比率100%を達成

第7期環境行動計画の活動最終年である2015年度は、2013、2014年度の取り組みにより蓄積した活動ノウハウを活かし、グループ一丸となって推進した結果、CO₂排出削減活動に取り組むお取引先比率100%を4か月前倒しで達成しました。

取り組みステージ



ステージ1 取り組み意志の表明 (取り組み宣言)	CO ₂ 排出抑制/削減の意義を理解し、企業として取り組む意志を表明する段階
ステージ2 具体的な活動の実践	数値目標、方針、計画のいずれかを設定した取り組みを実施している段階
ステージ3 外部への活動拡大	自社内の取り組みから、自社の外にまで活動を拡大している段階(サプライチェーン上流への働きかけや外部組織との検討作業の協働など)

2016年度の目標・計画

サプライチェーン上流への活動展開を強化

第8期環境行動計画では、地球規模の環境課題である「CO₂排出削減」に引き続き取り組んでいきます。

お取引先への取り組み依頼に、自社のお取引先(富士通グループから見た2次お取引先)への働きかけ実施を盛り込み、サプライチェーン上流への活動展開を目指します。

こうした取り組みを通じて、サプライチェーン全体に活動の輪を広げていきたいと考えています。